

令和6年度 稲城市立南山小学校 授業改善推進プラン3年

昨年度の取組に関する「成果」と「課題」
 「成果」知識の習得や計算などはよくできていた。みんなの前での発表もしっかり行うことができる児童が多い。
 「課題」見通しを持って計画的にすすめることや、習得した知識を応用して使うこと、文章問題など、戸惑う傾向が見られた。また、自分の考えや気持ちを十分に書くことができないこと、文章の中での助詞の使い方、誤字脱字などが目立っていた。

教科	観点別分析	教科ごとの課題	教科ごとの指導方法等の改善策
国語	○知識・技能	○個人差はあるが、読書への関心が高い児童が多い。	○ペアで考えを伝えたり、書いたものをクラスで見合ったりする場面を設け、様々な表現の仕方に触れて、思考力を高め合えるようにする。
	○思考・判断・表現	○自分の思いや考えをもつことができる児童が多いが、表現できる児童は限られている。	○文章中の考え、理由、事例との関係、登場人物の行動や気持ちなどを捉えられるようにし、読む力を伸ばす。
	◎主体的に学習に取り組む態度	○相手を意識して、話す力や発表する力を育む必要がある。 ○文章構成や表現方法を習得し、活用できるようにする必要がある。 ○漢字の定着を促したり、文章の中で漢字を正しく使ったりする必要がある。	○教科書教材の並行読書を行い、多くの図書を手に取る場面を設定し、課題に合わせて情報を活用する。 ○漢字や言語においては、毎日の家庭学習や漢字のミニテストなど、継続して課題に取り組ませていく。
社会	○知識・技能	○学校のまわり、学区の様子、稲城市内の様子、と児童に身近な社会的事象についてより具体的に考えられるようにした。	○いろいろなことを知っている児童を生かしつつ、児童が自分で考えたことをグループやクラス全体で発表し合い多面的に社会的事象を捉えて考えを深めていけるように、ノートやワークシートに自分の考えを書く時間を確保したり、グループやクラス全体で話し合う場を設けたりしていく。
	○思考・判断・表現	○色分けをするワークシートや実際に撮ってきた写真やビデオ、NHKの番組などを活用した。○副読本の「わたしたちの稲城」、グーグルアース、「稲城市のホームページ」、「統計集」など、児童が主体的に学習に参加し課題解決できるようにタブレットを活用した。	◎タブレットを常に用意させておき、何をどのようにタブレットで調べられるのかを教えることで、今後児童が自分で主体的に調べていけるようにする。
	◎主体的に学習に取り組む態度	○資料を読み取って自分の考えを持ったり考えを発表し合って深めていったりする力が弱いので、これらの学ぶ力を身に付けてさせる。	◎「店で働く人々」などの学習では、家庭での聞き取りや調査などを通して、学習したことを社会生活に生かして実践しようとする態度を育てるようにする。
算数	○知識・技能	○低学年からの学習態度別少人数指導を実施し、児童一人一人に合わせた学習の充実を図った。これにより、多くの児童が個々に応じた進捗で、学習に意欲をもって取り組むことができた。	○家庭学習やタブレット端末を活用して既習事項を定着させ、それを生かして考えられるようにする。百マス計算を朝学習で取り組む。
	○思考・判断・表現	○東京ベーシックドリルの診断テストでは、「数の構成」「テープ図と式」「単位の換算」「立体の頂点、辺、面」「表とグラフ」の正答率が50%台あるいは以下だった。(R6年度)自分の考えを言葉や図に表して表現することを指導しているが、十分ではない。導き出した答えに対する吟味も不十分な面がみられる。計算自体は理解しているが、ケアレスミスが目立つ。	○式で表すこと、図で表すこと、更に線分図、数直線に表して、言葉で表現しながら課題解決できるようにする。
	◎主体的に学習に取り組む態度		○日常生活と算数が結び付くように、生活場面から問題を提示し、学習の振り返りで、算数をどのように生活に生かすのかを考えるようにする。 ○時刻と時間の求め方は、テープ図などを使って説明できるようにする。また、時計で表したり、筆算で計算をしたりして求められるようにする。
理科	○知識・技能	○理科の学習内容が生活の中で役立つことを理解している。学習したことを生活の中で生かしたいと考えられるようになっている。	○生命・地球分野では、総合的な学習の時間と関連させて、生き物や植物の観察を行ったり、実験を行ったりしてものの性質を正しく理解できるようにする。
	○思考・判断・表現	○実験器具の取り扱い方を覚え、正しく扱うことができています。	○タブレット端末を活用し、観察で自然事象の変化を捉えるようにする。
	◎主体的に学習に取り組む態度	○事象が変化していく様子を観察○記録して、そこから理科の見方○考え方を働かせることができるようになっている。 ○既習事項や生活経験と関連させて予想を立てることができるが、問題を解決するための道筋を立てるのが難しい。	○自然事象の様子や変化を絵図で表し、まとめる時間を学習の終わりにつくり、生活と結び付けて考えるようにしていく。 ○自分の気付きを友達に伝え、考えを交流する時間を設ける。SDG'sの視点を学習のめあてや振り返り等で共有できるようにする時間を設ける。
体育	○知識・技能	○短縄跳び月間、長縄月間の実施により、休み時間以外で体を動かす児童が増えつつある。	○体づくり運動、器械運動、走・跳の運動では、体の動かし方や運動の行い方を理解させた上で、個人のめあてをもたせ、随時振り返りを行いながら安全に学習に取り組ませる。
	○思考・判断・表現	○1学級1取り組みを昨年度から実施。児童の発想を基に、休み時間に外に出てクラス遊びをする取り組みで、普段外で遊ぶことが少ない児童にも体を動かす機会を増やすことができた。	○ゲームでは、勝敗を受け入れられるようにするためにも、事前に約束やルールをしっかりと確認してから取り組ませる。また、自分や相手の良さを見られるよう、学習カードや振り返りカードを活用したり、チームでの作戦会議などの時間をつくりたりしていく。
	◎主体的に学習に取り組む態度	○授業で取り組んだ運動を、休み時間にも取り組む児童が増えた。 ○外遊びをする子が決まっていることや、遊びの中での関わり方に課題が見られる。 ○体を動かすことが好きな児童が多いが、感染症対策のため、できる運動領域に制限があったため、体の切り返し系の動きや、腕支持感覚や自重を支える感覚の低下が懸念される。	
外国語活動	○知識・技能	○発音練習や英会話練習では、元気で楽しそうに取り組める児童が多い。	○学習領域「話すこと」「聞くこと」により重点を置いて、学習活動を組み立てていく。
	○思考・判断・表現	○アルファベットの文字を書くことを意欲的にできる児童が多い。	○より基礎・基本的な発音や単語に触れて、語彙力、表現力を養っていく。
	◎主体的に学習に取り組む態度	○日常生活の中で英語が必要なことを理解しており、英語に対して前向きに学習に取り組む様子が見られる。 ○英単語のつづりを見ると「読めない」「分からない」と苦手意識を前面に出す様子が見られる。	○ALTや友だちと外国語を使って表現する場をたくさん設ける。 ◎デジタル教材やタブレット端末を効果的に使い、歌やゲームなどに楽しく取り組めるようにする。
総合的な学習の時間	○知識・技能	○里山たんけん、花粉付け、袋掛け等の体験活動を通して、自分たちの住んでいる地域に関心を持ち、理解を深めることができています。	○エリアマネジメント、南山土地区画整理組合、パシフィックコンサルタンツ、加金園の方々と交流し、地域にすすんで関わる機会を今後も複数回設定し、地域を大切にしていこう方法を考える。
	○思考・判断・表現	○里山たんけんや梨農家で体験を、身近な出来事や実体験からつなげて考え、稲城の梨を広めたり、南山の生き物となかよくするために何ができるのかを自分事として捉え、解決に向けて取り組もうという必要感は薄い。	◎学習内容とSDG'sの関連を示したり、振り返りの場面などで、学んだ内容がどのSDG's達成に向けた行動につながるかを考えさせたりする。意識させる機会を増やし、学びの目的や意味に気付かせ、より自分ごととして捉えさせる。身近な出来事や実体験からつなげて考え、自分事として問題を捉え、解決に向けて取り組む。
	◎主体的に学習に取り組む態度		
道徳	○価値理解	○教材から意欲的に価値について考えたり、自己の生活を振り返ったりする姿が見られる。	○展開後段に十分な時間をとり、自己の生き方を振り返ることができるよう、児童の実態に合わせて発問を工夫する。場合によっては、教師の話を振り返りの前に位置付けることで、児童が振り返りの視点をもてるようにする。
	○判断力・心情	○学習した内容項目において、振り返った結果を行動に生かすことが難しい。	○自他の多面的・多角的な考え方に触れさせる授業展開になるよう工夫する。(動作化、役割演技、でもねゲーム、ペープサート、心情円グラフ、ペアでの対話、小グループでの意見交流 等)
	◎実践意欲・態度	○お話の中だけでの出来事として捉えており、実生活と結び付けて考えさせることが必要である。	○研究テーマと関連する内容項目を重点項目(親切、思いやり・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、希望と勇気、努力と強い意志)として、年間を通した指導を行う。 ○道徳授業地区公開講座では、全学級重点項目についての授業を行い、児童への価値づけを行う。 ○みなみっこタイム(生活科)・南山タイム(総合的な学習の時間)の単元目標に繋がる内容項目を関連付けて指導する。 ○各学年のESDカレンダーに基づき、SDG'sの視点における各教科との繋がりある指導を継続的に行う。
音楽	○知識・技能	○学習のめあての確認と本時の流れを示すといった南山授業スタイルを毎時間行うことで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができた。	○歌唱では、歌詞の理解と旋律に慣れ、声量に気を付けて発声法や表現の仕方を学んでいく。
	○思考・判断・表現	○本時のめあてに対して、できたことや分かったことの振り返りを、振り返りシートに記入することができた。一方、友達の演奏や意見から学んだことや、次時の学習の課題に気付くことは、まだ不十分であり、教師からの働きかけが今後も必要である。R6年度	○器楽では、階名や指使いなどの奏法に慣れ、諸要素や用語を確認しながら少量の息を入れることに気を付けて演奏する。
	◎主体的に学習に取り組む態度		○音楽づくりでは、自分で選んだ楽器の奏法を工夫して、思いや意図をもってすすんで表現する ◎鑑賞では、主な旋律を繰り返し聴き、曲の気分に合わせてすすんで体を動かすなどの活動を入れたり、聴き取ったこと感じ取ったことをワークシートに記入したりする。 ○ペアやグループ活動時にタブレット端末で録音し、思いや意図をもって活動したり、演奏したりできるようにする。R6年度
図工	○知識・技能	○自ら進んで取り組むことができた。さらに最後まで意欲を保ち続けながら活動させる。	○4年生までに、有彩色や無彩色を組み合わせ、色彩に幅や深みを持たせ、作品に応じた使い方ができるよう指導する。学習に取り組む手順を板書し、見通しをもたせる。
	○思考・判断・表現	○振り返りの時間をさらに活用しながら、活動中の工夫や頑張りを意識しながら取り組ませ続ける。	◎身の回りの物、自然、タブレット端末の画像などから形や色イメージを基に表したいことを考え、自分の見方や感じ方を深める。すすんで表現したり鑑賞したりするように指導する。
	◎主体的に学習に取り組む態度	○未体験の素材に触れさせながら、自分の作品を完成させることで、達成感を持たせることができた。	